

第6学年 国語科学習指導案

指導者 岡村 和美

研究主題

自分の思いや考えを伝え合う児童の育成
～読む・書く・話す聞く力を高める授業づくり～

研究の仮説

授業の中で、一人ひとりの思いや考えを大切にし、伝えたい課題の提示や伝え合う場の設定をすることにより、人とかかわり合うことよきを感じ、伝え合う力を高めることができるだろう。

1 単元名

話し合いの達人をめざそう

〈教材名〉問題を解決するために話し合おう（東京書籍6年上）

2 めざす児童の姿

(1) 身に付けさせたい力

学習指導要領「A 話す・聞く」(2) 内容①指導事項では、教材とのかかわりとして(1)イ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」と(1)エ「話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。」を踏まえ、(1)オ「互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。」をねらいとしている。

高学年になると、自分たちの問題を自分たちで話し合っ解決することが増えてくる。また、話し手の意図をとらえながら聞いていないと友達とのコミュニケーションがとれなくなり、誤解を生じることも多い。代表としてみんなの前で話す機会も増え、目的や意図に応じて話すことが大切になってくる。

そこで、本単元では、次の力を身に付けさせていくようにしたい。

- 問題解決をする協議を通して、自分の意見を的確に伝えるとともに、他の人の意図を考えながら話し合う力

(2) 「身に付けさせたい力」に関する児童の実態

本学級の児童は、課題に対して真面目に取り組むことができるが、話す

ことに対して苦手意識をもっている児童が多く、活発に意見を交換することが難しい。特に、学級会や代表委員会などの話し合いでは、意見が十分出ないまま、安易に多数決で意見をまとめることも多かった。

そこで、自信をもって話すことができるようあらかじめ書いておいて発表したり、意図的指名により全員発表する場を設けたりして、自分の考えを話す機会をできるだけ多く取り入れてきた。少しずつ発表することには慣れてきたが、依然として声は小さく、自分が話すことに一生懸命になるあまり、話し手の意図をとらえて聞いたり、計画的に話し合ったりする力が身に付いているとはいえない。

今年度の全国学力・学習状況調査でも、「話す・聞く」観点の正答率が平均より下回った。特に、国語Aの $\boxed{7}$ 「話し合いの観点に基づいて情報を関連付けること」や国語Bの「話す・聞く」設問 $\boxed{1}$ の「目的に応じて、話し合いの観点を整理すること」や「立場を明確にして、質問や意見を述べること」に大きな課題がみられた。

3 教材観

本単元では、学習指導要領A「話す・聞く」(1)オ「互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。」をねらいとしている。また、授業では、(2)イ「調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。」に対応する言語活動に取り組みさせる。本教材では、学校生活における問題点について話し合うという言語活動を通して、問題解決のための話し合いの仕方や話し合いの運営能力を付けることをねらいとしている。学級内だけでなく、委員会活動や代表委員会などで話し合う場の多い6年生にとって、合意形成に至るまでの話し合いの基本的な型【①問題を確認する、②問題の原因を整理する、③解決方法を出し合い審議する、④意見を集約して結論を出す】を学ぶことは、日々の学校生活や家庭生活でも活用できる大切なことを学ぶ貴重な経験でもある。また、教材文の話し合いの様子を分析し、司会の技能や意見の出し方や整理の仕方などの技能を身に付けることにより、話し合いのリーダーとしての役割も自信をもって果たすことができると考えられる。

4 指導観

指導にあたっては、次の点に留意したい。

◆ 意欲付けを図る課題提示の工夫

- ・ 今までの話し合いの様子を振り返り、自分の課題をもって学習に臨むことができるようにする。また、単元を通して話し合い活動の意義や必要性について気付かせ、みんなの問題をみんなで解決するためのスキルを身に付けていこうとする意欲付けとする。

- ・みんなで話し合う問題は、自分たちの生活の中から必要感のあるものを選び出し、全員が自分の考えをもって、話し合いに臨むことができるようにする。
- ・あらかじめ自分の考えを書く時間を確保し、メモやガイドを見ながら話してもよいことを告げ、全員が自分の意見を言い、積極的に話し合うことができるようにする。

◆ 目的を明確にした伝え合いの工夫

- ・学習のねらいをより強く児童に意識させるために評価シートを用意し、話し合いをする児童とそれをモニタリングして評価する児童に分け、双方の評価を生かせるようにする。
- ・4～5人の少人数での話し合いを設定し、話しやすい雰囲気をつくり、全員参加の話し合いが行われるようにする。
- ・必要に応じてメモをとるようにし、書く時間も確保することにより、話し合ったり振り返ったりすることができるようにする。

◆ 活用する力を高めるための手立て

- ・話し合いを進める司会や意見を言う参加者のスキルを教材文から学び、観点ごとにまとめて明確に示すことで、児童がそれらを意識しながら話し合うことができるようにする。
- ・問題解決のための話し合いの仕方をまとめて掲示し、話し合いのときに児童が参考にすることができるようにする。
- ・話し合いの様子を課題に沿ってモニタリングし合うことによって、できるようになったことを認めることで、達成感や成就感を味わわせ、今後の話し合い活動への積極的な参加につなげられるようにする。

5 単元目標

- 自分の意見を的確に伝えるとともに、ほかの人の意図を考えながら計画的に話し合うことができる。

6 評価規準

【言語活動】 イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。 ○学校生活における問題点について話し合う（協議）		
国語への関心 ・意欲・態度	話す・聞く	言語についての 知識・理解・技能
・問題の解決に向けて協力して話し合おうとしている。	・意見の理由を明確に示して話している。 ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。 ◎互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合いの手順に沿って計画的に話し合っている。	・協議を行う上での話し言葉について理解している。

7 指導計画（活動計画）（6時間）

第一次 話し合いの課題を見つけ、進め方について考える・・・3時間

第二次 話し合いをしてモニタリングをする・・・・・・・・・・2時間（本時2／2）

第三次 まとめの話し合いをする・・・・・・・・・・1時間

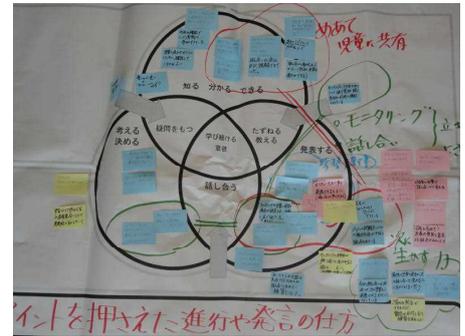
	時	○ねらい ・学習活動	支援及び留意事項	《評価項目》 ○おおむね満足（評価方法）
第1次	1	○話し合いの課題を見つけ、本単元のねらいを確認することができる。 ・日頃の話し合いを振り返って、良い点や問題点を考える。	・代表委員会や試しの話し合いを振り返らせたり、参考にさせたりしながら、よりよい話し合いに必要なルールやスキルについて考えようとする意欲を高めるように促す。	《関心・意欲・態度》 ○話し合いの様子を振り返りよりよい話し合いに必要なルールやスキルについて考えようとしている。 （発言・行動観察）
	2	○問題解決のための話し合いの進め方や司会の役割などについて知ることができる。 ・教材文を手がかりとして討論会の準備や進め方をつかむ。	・教材文を役割読みさせることによって、司会の進め方や話すとき、聞くときのポイントを押さえる。 ・司会や参加者が気を付けることを自分の言葉でまとめさせる。	《話す・聞く》 ○話し合いの仕方や司会の役割などについて理解している。 （発言・ノート）
	3	○話し合いを行うための準備をすることができる。 ・解決したい問題を決め、解決方法を考える。	・多くのテーマの中から優先順位を決め、話し合うように促す。 ・教材文を参考にしながら具体的な提案ができるように促す。	《話す・聞く》 ○話し合いのために、自分の提案することを考え準備している。 （ワークシート）
第2次	1 2 (本時)	○手順や観点に沿って話し合ったり、モニタリングをしたりすることによって、よりよい話し合いの仕方について考えることができる。 ・司会の進め方にそって話し合いを行う。	・ペアになったグループどうしてモニタリングして、伝え合うことができるように促す。 ・振り返りを生かして、さらによりよい話し合いができるように促す。	《話す・聞く》 ○手順や観点に沿って話し合ったり、モニタリングをしたりすることによって、よりよい話し合いの仕方について考えている。 （発言・評価シート）
第3次	1	○学習したことを生かして、まとめの話し合いを行うことができる。 ・よりよい話し合いをするために大切なことについてまとめる。	・今まで学習した話し合いのスキルをまとめて掲示することで、話し合いをするときに参考にできるようにする。	《話す・聞く》《言語》 ○問題解決のための話し合いをするうえで必要なルールやスキルを使って話し合うことができる。 （発言・ワークシート）

○ 研究協議での意見や提案

参加者27名による授業機能マップ（柳井市教育委員会独自の授業研究シート）を活用してのワークショップ型研修が行われた。4つの班で話し合われたことは以下の通りである。

【Aグループ】

- ・ワークシートや板書、発言の仕方の観点などをまとめたものなどが分かりやすく、活動をスムーズに行う手立てとなっていた。
- ・司会のスキルを高めるために、メモを取ることや意見をまとめることができるような手立てが必要であった。



【Bグループ】

- ・話し合いを振り返ったときに、「メモを取ることが大切」「人の話をよく聞いて質問をすることが大切」というような気付きが出てよかった。
- ・マニュアルに頼るのではなく、自分の言葉で語ることで話せる話し合い活動をめざしたい。そのためには、相手意識をもたせるための工夫や話し合いたくなるような課題設定が大切である。

【Cグループ】

- ・モニタリング効果を高めるために、記録係をおいたり、ビデオに撮ってみんなで視たりするのもよいのではないか。
- ・ペアでのモニタリングは、ワクワク感や達成感を味わうことができた。

【Dグループ】

- ・マニュアルを生かしながら、少しずつアドリブで話すことができるようになるとよい。詳しく親切すぎるマニュアルはよくないのではないか。
- ・深める発言を引き出すためには、さらによりよい解決方法を選ぶとよかった。

○ 考察

今回の授業研究では、児童に身に付けさせたい力と児童の実態をしっかり把握した上で、教材を吟味し、授業作りを行うことの大切さを再確認することができた。

「話す・聞く」ことがあまり得意ではない児童にとって、相互の意見や考えなどを出し合い、一つにまとめていく協議は、抵抗があるものであったが、教材文をみんなで分析し、基本的なスキルを丁寧に押さえていったことで、よりよい話し合いのイメージをつかむことができたのではないかと考える。

また、モニタリングという手法を用いることで、学んできたことを見取りの観点として友達の学びの姿を分析することができた。友達から認められ褒められることで達成感を味わい、自信をもって話し合うことができるようになっていった。

さらに、モニタリングをもとに話し合いの様子を振り返ることで、新たな課題を見つけてよりよい話し合いへと高めることもできた。活用する力を高めさせるためには、本時で取り上げたようなスキルを明確にして、見取りを丁寧に行う過程を重視していくことが大切なのではないかと痛感した。これからも授業改善に向けて、研修を重ねていきたい。

8 本時案 (第二次2/2)
平成26年10月21日(火) 5校時

- (1) 場所 6年教室
(2) 場準備物 司会進行カード
話し合いメモ
モニターリングシート

1 主眼
手順や観点到に沿って計画的に話し合
ったり、モニターリングをしたりしか
とによって、よりよい話し合いのしか
たについて考えることができる。

2 指導上の留意点
① 前時までの学習から考えた話し合
いの進め方・司会の役割・発言の際
に気をつけることと内容を確認しな
うが、本時の内容をめあてをた
たにする。

② 進行カードや話し合いメモをも
とにして、互いの立場や意図を明確に
して話し合うことができる。

③ モニターグループは、話し合いを
観点にして、活動の様子を
記録し、改善が図られる
ようにする。

④ 課題が見つかるときは、みんな
で考えて今後の話し合いに生かすよ
うにする。

3 評価
○ 話し合いの手順や観点到に沿って計
画的に話し合ったりモニターグ
ループをしたり、よりよい話し
合いのしかたについて考えること
ができたか。(発言・ワークシート)

十月二十一日

④ 問題(さわやかなあいさつが
できない)を解決するために話し
合おう。

《話し合いの進め方》

- ① 問題を確認する。
- ② 問題の原因を考える。
- ③ 原因を整理して解決方法を話し合う。
- ④ 意見をまとめる。

《モニターリング結果》

三班 **四班**
原因(眠い) ↓
解決方法(夜早く寝る。) など

- 四つの流れ: ○
- 司会の進め方: ○
- 発言の仕方
 - ① 広げる発言 くみんなによびかける。
訳がわかりやすい。
 - ② つなげる発言 く私も・くさんと似
ていて
 - ③ 深める発言 く質問・反対意見

【今日の話し合いで学んだこと】

- ◆ メモをとることが大切
- ◆ 聞いたその場で考えて話す力が必要

本時の流れ

① 本時のめあてを確認する。
◆ 前時の学習から話し合いの進め方やス
キルなどそれぞれの役割について想起さ
せる。

どんなことに気をつけて話し合うとよか
らう。

**② ニグループの話し合いを行い、モニタ
リングをする。**

- ◆ モニターリングシートの観点到ことに自
分の振り返りとモニターリングチームの
評価を比べることでよかつた点や改善
点に気づくようにする。
- ◆ 個人だけでなく、全体の班の様子で
気がついたことも発表するようにする。

友達の話し合いでよかつたところは、ど
んなところだろう。

③ 話し合いの振り返りをする。

- ◆ 二つの班の話し合いの様子を伝え合
うことと課題を見つけて。
- ◆ 前時まで確認した話し合いのスキル
をもとに改善点についてみんなで考
える。

みんなだったら、どのように言
うだろう。

④ 本時のまとめをする。

- ◆ 本時の話し合いやモニターリングを
振り返って、次時の話し合いに生か
したいことを中心に感想を書かせる。

今日の話し合いから学んだことは
なんだろう。